

みなさんにお知らせとお願い

住宅地等における 農薬使用について

農薬は、植物の病気や害虫の防除、除草などにおいて有効な資材ですが、飛散すると人の健康（特に化学物質過敏症の方、化学物質に対する感受性の高い子どもや妊婦の方）に影響を及ぼすことが懸念されています。

近年、学校、保育所、病院、公園、住宅地内及びその周辺で使用された農薬の飛散を原因とする、住民、子ども等の健康被害の訴えの事例が聞かれるようになっていきます。

これらの場所やその周辺での、病虫害や雑草の防除は、まずは**農薬を使用しない方法**を考えましょう。

病虫害の発生状況を踏まえやむを得ず農薬を使用する場合は、周辺住民へ**事前に周知する**など健康被害防止に努め、**周辺に飛散させない**ように最大限の配慮をしましょう。

特に注意を要する場所

学校、保育所、病院、公園、住宅地の敷地内とその周辺等の樹木、芝生、農地（家庭菜園を含む）



学校



樹木



芝生



保育所



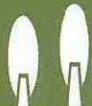
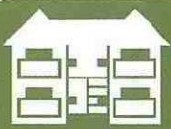
病院



農地（家庭菜園）



公園



住宅地

住宅地等に近接する 樹木、芝生、農地(家庭菜園を含む)及び公園等における病害虫防除

病害虫の発生や被害の有無に関わらず定期的に農薬を散布することはやめましょう

まず、農薬を使用しない方法を考えましょう

病害虫対策の基本

1 発生予防

- ・枝葉が混み合っていると、通風や日当たりが悪くなり病害虫が発生しやすくなるので、間引きや剪定を行いましょ。
- ・落ち葉や枯れ枝は病害虫の越冬場所や伝染源となるので、これらを取り除きましょう。

2 早期発見

病害虫の被害は、毎年同じ時期に同じ場所で発生することが多いので、よく観察して早期発見に努めましょ。

3 早期防除

病害虫を発見した場合、出来るだけ早く害虫を捕まえて処分したり、加害部の切り取り処分などを行いましょ。

樹木の病害虫防除

○ 捕殺・枝葉の切り取り

卵、幼虫などを見つけたら、すぐにつぶすか捕まえて処分ましょ。
また、害虫がついた枝や葉を切り取り、処分ましょ。
(チャドクガは幼虫、成虫、抜け殻のいずれも強力な毒針毛を持っていますので、素手でふれてはいけません。)

○ たいまつによる焼却

金属棒を利用してたいまつを作り、これを利用して毛虫を焼きましょ。ただし、火災には十分に注意ましょ。

○ ブラシ・竹べらなどによるはぎ取り

カイガラムシ類は動かないので、ブラシや竹べらを利用してはぎ取りましょ。

○ こも巻き

マツカレハにはこも巻きを行い、越冬幼虫を集めて処分ましょ。

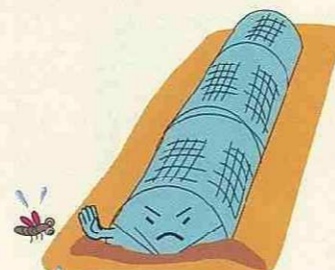


たいまつで焼却

農作物の病害虫防除

○ 病害虫に強い品種を選びましょ。

○ 防虫ネットやマルチの使用など物理的な防除方法を利用ましょ。



防虫ネットを利用

雑草防除

- こまめな手取りや刈り払い機による刈取りを行いましょ。



こまめに草取り

農薬を使用する場合に配慮すること

- ➡ **必ず、登録のある農薬を使いましょ。**
ラベルに「農林水産省登録第〇〇〇号」と表示されています。
農薬の使用に当たっては、ラベルの記載内容を守りましょ。

- ➡ 誘殺、塗布、樹幹注入、粒剤施用など、まず散布以外の方法を検討ましょ。



誘引トラップの設置

薬剤の樹幹注入



薬剤の塗布

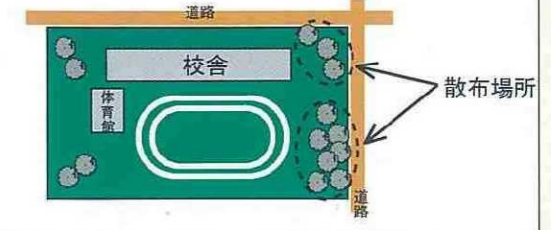
粒剤の施用

- ➡ やむを得ず農薬散布する場合は、**最小限の区域とし、次のことを守りましょ。**

- 1 散布者(あるいは散布を依頼した者)は、事前に周辺住民に、散布目的、日時、農薬の種類、散布者名(連絡先)などを周知ましょ。特に、近くに学校や通学路がある場合は、学校や保護者へも周知ましょ。

関係者への通知例(学校の場合)

殺虫剤散布のお知らせ	
日時	〇〇月〇〇日 午前〇〇時~午前〇〇時(予定)
場所	校庭の東側(サクラの木 10本)
害虫の状況	毛虫(アメリカンロヒトリ)が大量発生
散布殺虫剤	エトフェンプロックス乳剤(ビレスロイド系) 4000倍希釈液 約100リットル
次の気象条件の場合、散布を延期あるいは中止まします ◆雨が降っている ◆雨の予報が高確率である ◆強い風が吹いている ◆近隣に影響を及ぼす風向きである	
散布を実施した場合は ◆週末の校庭開放は中止まします ◆〇〇日までは散布した木の下で遊ばないでください ◆校庭で遊んだあとは、せっけんで手をよく洗い、うがいをましょ ◆めまい、吐き気、頭痛などの症状がでる可能性があります。散布場所に近づいて気分が悪くなった場合には、離れて新鮮な空気を吸いましょ	
安全管理責任者	〇〇小学校 校長 〇〇〇〇
作業責任者	〇〇造園(株) 電話XXX-XXXX



人が入らないように工夫を

- 2 人が立ち入る場所では、立て看板などを利用し、少なくとも当日は散布区域内に関係者以外の人が入らないようにしましょう。
- 3 可能な限り、病害虫が発生した部分だけの散布にしましょう。



早朝の無風時に散布



- 4 早朝など無風または風が弱いときに散布を行い、散布時は常に風向きやノズルの向き等に注意しましょう。
- 5 農薬使用後は、使用履歴（年月日、場所、対象植物、使用農薬名、使用量、希釈倍数）を記帳し、一定期間保管しましょう。

農薬散布により、次のような健康影響が出る可能性があります。

- めまい、吐き気、頭痛、全身の疲労感など

参考：「農薬中毒の症状と治療法 第11版（農林水産省監修）」 農薬工業会発行
農薬工業会のホームページアドレス <http://www.jcpa.or.jp>

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、最寄りの医療機関にご相談ください。
健康相談は、最寄りの県保健所でも行っています。

注意！ 非農耕地用除草剤は農地や庭には使えません

「非農耕地用」として販売されている除草剤があります。これは、道路や線路、駐車場など、限られた場所で使われる除草剤であり、これを農作物等（米、野菜、果樹、観賞用に栽培している庭園樹、盆栽、花き、街路樹、ゴルフ場の芝、山林樹木）に用いることは法律違反となります。注意してください。

★ 農薬の適正使用に関する問い合わせ先

最寄りの農業改良普及課

尾張農林水産事務所農業改良普及課	052-961-7211(代)	西三河農林水産事務所安城農業改良普及課	0566-76-2400
同 一宮支所農業改良普及課	0587-21-2511	豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課	0565-36-6639
同課 江南駐在室	0587-56-3703	同課 足助駐在室	0565-62-0502
海部農林水産事務所農業改良普及課	0567-65-4312	新城設楽農林水産事務所農業改良普及課	0536-62-0546
知多農林水産事務所農業改良普及課	0569-21-8111(代)	同 新城農業改良普及課	0536-23-2111(代)
西三河農林水産事務所農業改良普及課	0564-23-1211(代)	東三河農林水産事務所農業改良普及課	0532-63-3529
同課 西尾駐在室	0563-57-4154	同 渥美農業改良普及課	0531-22-0381

農林水産部農業経営課 環境・植防グループ 電話 052-954-6411（ダイヤルイン）